受　験　番　号							
M							

令和９年度
広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験
【博士課程前期】（９月入試）

専　門　科　目

教育科学専攻　教授学習科学プログラム
教授創成科学コース　家政教育学分野

令和８年９月９日

自　９時００分
至１２時００分

受験上の注意事項
１．すべてのページに受験番号を記入してください。
２．配付した問題用紙は持ち帰ってはいけません。
３．配付した問題用紙は，表紙を含めて６ページです。
４．問題Ⅰは，全員解答してください。
５．問題Ⅱあるいは Ⅲは，いずれかを選んで解答してください。
・家政教育学を選択する者は，問題Ⅰ，Ⅱを解答してください。
・家政教育内容学を選択する者のうち，
ａ）食生活科学領域を選択する者は，問題Ⅰ，Ⅲ－１を解答してください。
ｂ）衣生活科学領域を選択する者は，問題Ⅰ，Ⅲ－２を解答してください。
ｃ）住生活科学領域を選択する者は，問題Ⅰ，Ⅲ－３を解答してください。
６．問題に１），２）のように枝番号がある場合は，そのすべてに解答してください。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・家政教育学分野

受験番号							
M							

Ⅰ．家庭科では，自身や家族の生活について，自立と共生の視点から多様な学びを行っている。日本は世界有数の長寿国であり，長い人生を充実したものにするためには，家庭科で扱っている健康や社会生活（労働，消費行動，社会保障など）についての学びを深め，自分自身で考え行動する力を付けることが重要である。一方で，社会の digital transformation（DX）化が急速に進展し，従来の考え方や教育では子どもたちの将来につながる学びには十分対応できない可能性も示唆されている。

中学校・高等学校の家庭科における教育で，上述した内容に関係するものを挙げ，現状と課題について説明するとともに，今度どのような対応が求められるかあなたの考えを述べなさい。なお，取り上げる内容については一つでも複数でも構わない。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻	教育科学専攻
プログラム	教授学習科学プログラム
コース・分野	教授創成科学コース・家政教育学分野

受験番号								
M								

Ⅱ．家庭科教育における学力観の特徴を説明しなさい。そのことを踏まえ，高等学校『家庭基礎』の導入時におけるガイダンス授業の重要性について述べ，ガイダンス授業を工夫するための具体的な方策を二つ挙げなさい。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・家政教育学分野

受験番号							
M							

Ⅲ—1. タンパク質について，以下の問いに答えなさい。

１）栄養素としてのタンパク質の意義について説明しなさい。

２）食品素材としてのタンパク質の特徴について，食品科学の観点から重要だと考えるものについて具体的な例を挙げながら説明しなさい。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・家政教育学分野

受験番号							
M							

Ⅲ—２.

１）家庭科における被服製作実習の意義を説明しなさい。また製作実習の具体的な例をあげ，衣生活内容以外の学習とどのように関わりながら学ぶことができるか，またどのような能力の習得を目指すことが望ましいか，あなたの考えを説明しなさい。

２）被服の生理的機能について，具体的な事例をあげて説明しなさい。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・家政教育学分野

受　験　番　号							
M							

Ⅲ—３.

１）住宅内における家具の配置と物品の整理・収納について，日常生活の利便性と地震時の安全性を関連付けて説明しなさい。

２）家族構成やライフステージの変化を一つ取り上げ，その変化に対応した住まいについて，プライバシーの確保と住空間の可変性を関連付けて説明しなさい。